

福島第一原子力発電所現地確認報告書

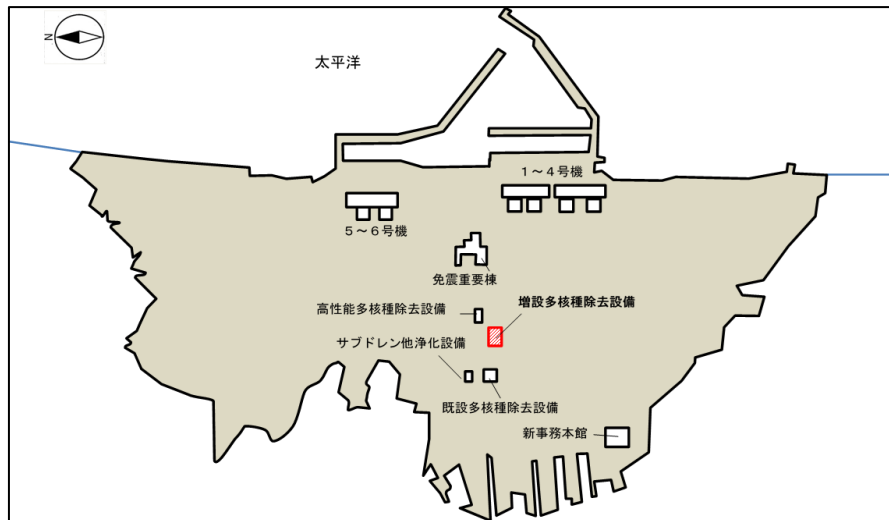
- 1 確認日
令和3年9月7日（火）
- 2 確認箇所
増設多核種除去設備
- 3 確認項目
増設多核種除去設備運転再開の準備状況等

4 確認結果の概要

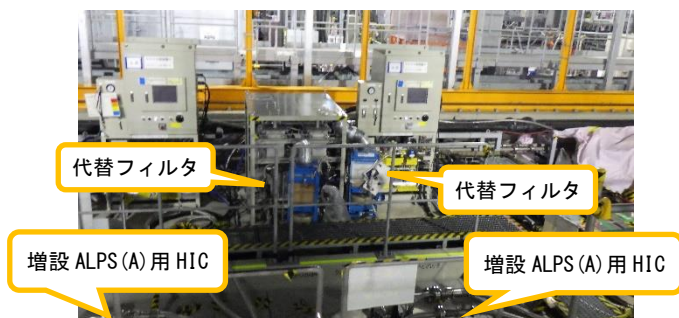
増設多核種除去設備（以下「増設ALPS」という。）建屋内では、8月5日から汚染水の浄化処理の過程で発生した炭酸塩スラリーを収納している高性能容器（以下「HIC」という。）のうち低線量のHICスラリーを移し替える作業が行われているが、8月24日にHICスラリー移し替え作業中にHICの排気ライン出口において、作業用に設置した連続ダストモニタのダスト濃度高警報（高警報値： $1.0 \times 10^{-4} \text{Bq/cm}^3$ ）が発生し作業が中断される事象が発生した。その後の原因調査で、8月30日に排気ラインの高性能フィルタに損傷があることが確認された。

東京電力では、これを踏まえて、既設ALPSと増設ALPSのHIC排気ラインの高性能フィルタ（全25箇所）の点検を進めるとともに、増設ALPS（A）に代替措置を実施し運転を再開するとしていることから、運転再開の準備状況等について確認した。（図1）

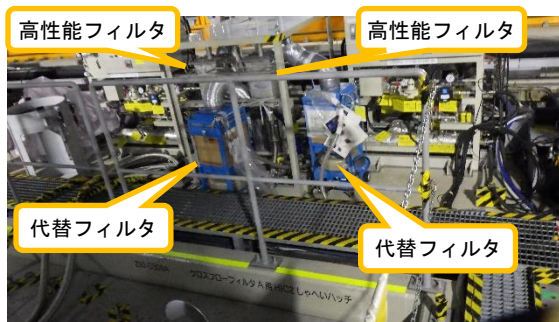
- ・増設ALPS（A）用のHIC2基の排気ライン高性能フィルタ排気口に代替フィルタが設置されていた。（写真1）
- ・増設ALPS建屋中央部西側に、代替フィルタ排気口周辺のダストを監視する連続ダストモニタが設置されていた。（写真2）
- ・現地確認時には、増設ALPS共通系HIC排気ラインの高性能フィルタの点検作業が行われていた。（写真3）
- ・東京電力によると、本日（9月7日）14時過ぎに増設ALPS（A）の運転を再開したとのことであった。



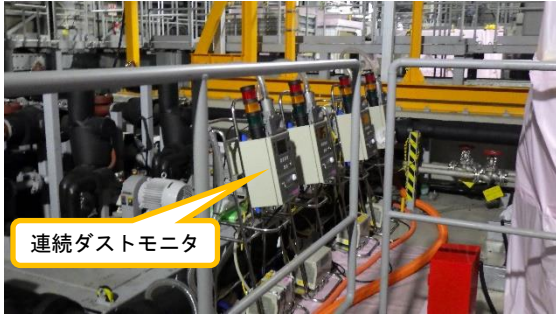
(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1-1)
代替フィルタの設置状況①
(南側から撮影)



(写真1-2)
代替フィルタの設置状況②
(南側から撮影)



(写真2)
連続ダストモニタの設置状況
(南東側から撮影)



(写真3)
高性能フィルタ点検作業（準備作
業）の状況（西側から撮影）

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。